

# 生活科学学習指導案

授業者 奥田 由美子

- 1.日時 平成28年(2016年)12月16日(金)5校時
- 2.学年・組 第2学年1組 26名(男子14名 女子12名)
- 3.場所 2年1組 教室
- 4.単元名 「野比の町探検 2」
- 5.単元目標 地域の人たちと積極的に関わりを深めたり、公共物や公共施設を安全に気をつけて正しく利用したりして、地域の人や場所に愛着を深めることができる。また、人々と適切に接することや安全に生活できるよう支えてくれている人々に関心をもつことができるとともに、人々と適切に接することや安全に生活することができる。

## 6.評価規準

### 【生活への関心・意欲・態度】

- ① 地域の人々の様子や様々な場所について、見たり調べたりしようとしている。
- ② 地域の一員としてマナーを守り、安全に気を付けて活動しようとしている。
- ③ 地域の人々や様々な場所に親しみや愛着をもち、繰り返し関わろうとしている。

### 【活動や体験についての思考・表現】

- ① 親しくなった地域の人や自然、愛着をもった場所との関わりの中で見つけた町の良さをふり返り、多様な方法で表現し、友だちに伝えることができる。

### 【身近な環境や自分への気付き】

- ① 地域で生活したり、働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの安全な生活を支えていることに気付いている。
- ② 親しみや愛着のある場所が増えたり、人々と適切に接したりすることができるようになった自分に気付いている。

## 7.単元について

本単元は、学習指導要領内容(1)(3)(4)(5)(8)を受けて設定した。地域の人々や様々な場所に対する親しみの気持ちや愛着を深めるとともに、その安全を守っている施設や人々にも関心をもち、地域と適切な関わりをし、安全な生活ができるようにすることをねらいとしている。また、自分の成長の背後には支えてくれている人々がいることがわかり、今後、内容(9)へと結びつけたい。

夏の探検は、調べてみたいお店屋さんへ行き探検を重ねた。幸い野比商店街は学校から近く、下校時

や休日にも気に入ったお店に立ち寄ることができる。お店の方からは「また来たね。今日は何をみますか?」「いらっしやい。今パン焼きたてよ、どうぞ探検してください。」と温かい言葉で受け入れていただいている。子どもたちは、調べたいことを事前にまとめインタビューの練習も行い、進んで探検し、探検後は調べてきたことを振り返りカードや新聞などにまとめた。そして、国語「ありがとうを伝えよう」と合わせて、お世話になったお店の人に「ありがとう」の手紙を書いて渡すことができた。

秋の探検では、夏の探検の経験をふまえ地域の人たちとの関わり合いを深め、自分たちの安全な生活は、地域の人々に支えられていることに気付き、もっともつこの町を好きになってほしいと願っている。探検後は、体験で得られた様々な気付きの質を高めるため、振り返りカードに記入後、発表会をして情報交換を行いたい。そして、今まであまり気に留めなかったであろう【子ども110番の家】のマークや登下校の安全を見守るボランティアの人々の存在や消防署や交番で働く人などから、地域の安全を見守る人々に関心をもたせたい。また、道徳の内容項目2-(4)「日ごろ世話になっている人々に感謝する。」と関連し、身の回りや地域で支えてくれている人々の好意や愛情を素直な心で受け止め、感謝する心を育てたい。そして、子どもたち自身が様々なことに気を付け、安全で安心な生活が過ごせるよう自覚を持って行動できるのびっこであってほしい。

## 8.児童の実態

本学級の児童は、【友だちの話を良く聴き合う】ということをどの学習でも取り入れてきている。国語「がまくんとかえるくん」では、主人公の気持ちの移り変わりを皆で話し合い、自分の考えを述べることができた。お互いの考えを聴き合うことで理解が深まり、カラーテストではクラス平均で高得点を出した。算数「水のかさ」では、かさの比べ方について話し合い、一人一人が自分の学習として理解することができた。授業の流れで、全員に意見を求める時もあればグループ1名の発表になる時もある。どのような場合でも友だちの意見を良く聴き合うことの指導を心掛けている。ただ、クラスの中には自分の考えに自信が持たなくて進んで意見を言えない子がいる。発問や板書を工夫し、発言を肯定的に受け止め自信をもたせたり、ペアで話し合ったりすることで、全員が授業に参加できる体制を整えている。

### <生活科について>

朝の会の健康観察で「今日は生活科が楽しみです。」と答える子どもたちがとても多い。何に対しても前向きな子どもたちであるが「次は、生活科です。」「わーい。」と歓声が上がる。常時活動として飼育は「ふわふわちゃん」や亀のお世話を、栽培は学級園や植木鉢に野菜を育て収穫することに取り組んできた。ふわふわちゃんは、1年生の時から飼育しクラスのアイドル的存在である。身の回りのお世話をした後、ブラッシングをしたり抱っこしたりしながら、ふわふわちゃんのふんわりとした温かさから命を感じて子どもたちは成長している。特に内向的な子や家庭的に寂しい子、ペットを飼った経験のない子がふわふわちゃんに寄り添っていることが多く、教師も子どももふわふわちゃんに癒されている。喧嘩やトラブルがほとんどなく、優しい雰囲気の中で毎日を過ごしていることから、教室に動物がいることの大きな力を感じている。飼育栽培の他に町探検・四季の移り変わりを感じてなどを行い、楽しく元気に活動している。

<支援が必要な児童>

- ① 自己肯定感が未熟で、進んで発言しようとしないう子。
- ② 集中する時間が短い子。

4月スタート時に比べて、他者との差は縮まってきているが今後もユニバーサルデザインのモデルに沿って支援を重ね、より良い変容ができるよう指導を続けたい。

<座席表>

別紙（支援が必要な児童）

9, テーマを具現化するための生活科におけるユニバーサルデザインの手立て

テ ー マ 「豊かな学びを創り出す のびっ子の育ち」

サブテーマ 「～支援教育の視点を取り入れた わかる授業づくり～」

「わかる授業づくり ユニバーサルデザインのモデル」を手立てとする。

### ① 教師の肯定的関わり

子どもたち一人一人が学習に参加し、進んで問題に取り組むよう、ふだんから子どもたちの考えを良く聴き肯定的に受け止めることで、自己肯定感をもたせられるよう心掛けている。スタート当初は、意見が言えなかった子、考えがあっても挙手できなかった子がいたが、後期になり短い言葉であっても全員が考えを発表できるようになった。教室が、友だちの意見をよく聴くことができる雰囲気になっているからであろう。

### ② 視聴覚機器の活用

- ・実物投影機のフル活用

生活科に限らず全ての教科で使っている。口頭の説明では理解しにくいことも視覚に訴えることで理解への手助けを行うことができる。

- ・ビデオ

過去の学習を振り返る時、ビデオは有効である。

### ③ 発問・指示

- ・子どもがわかる言葉をゆっくり、簡潔に話す。
- ・聴く時の姿勢、机上の整理
- ・一指示一作業
- ・ペア学習の時間、グループ学習の時間など時間の区切りをつけてメリハリのある授業展開を考える。

### ④ 学習形態

- ・ペア学習 一人では発言する自信がもてない子も、ペアで話すことで自信がもてる場合がある。
- ・グループ学習 ペアより更に自信がもてるよう設定。
- ・板書の工夫 学習の流れが分かるよう工夫して、視覚に訴える。

10.指導計画（全 8時間）

教師のなげかけ

ねがい

子どもの予想

気付き

学習活動の流れ	時間	教師の指導・支援	評価の確認と方法
<p>第1次 「こども110番の家」のマークについて考えよう！</p> <p>目標：夏の探検で目にした「こども110番の家」のマークについて知り、なぜ野比商店街では多くの店に貼られているのか考えよう。</p>			
<p>・マークを提示する。</p> <p>探検したお店屋さんで見かけたマーク、これは何でしょう。</p> <p>C：あっ、知ってる。見たことある。</p> <p>C：この前の探検で見たよ。</p> <p>C：お店屋さん貼ってあった。</p> <p>C：こども110番のマークだよ。</p> <p>お店の人は、ぼくたちの安全を守ってくれている。</p> <p>C：お店屋さんに行ってマークについて確かめたい。</p> <p>・探検の計画を立て、探検を行う。</p> <p>マークについて確かめるための探検の計画を立てましょう。</p> <p>C：バイク屋さんは、マークの種類が違っても、きっと意味は同じだよね。</p> <p>「こども110番の家」についてふりかえりをしましょう。</p> <p>C：インタビューしたことを発表しよう。</p>	<p>3 本 時</p>	<p>・「こども110番の家」のマークを提示する。</p> <p>・夏の探検で映したビデオを流し、「こども110番の家」のマークが商店街に貼ってあったことを思い出させる。</p> <p>・夏の探検で見てきたことを取り上げ、マークへの興味関心が高まるようにしたい。</p> <p>・お店の人との関わりを求めている子を取り上げ、全体に広げる。</p> <p>・夏の探検の経験から計画を立て、実行できるよう支援する。</p> <p>・どうしてマークをつけているのか、インタビューできるよう支援する。</p> <p>・探検でインタビューしたことの報告と「こども110番の家」についてのふりかえりを行う。</p>	<p>【気付き①】</p> <p>地域で生活したり、働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることに気付いている。</p> <p>（発言 つぶやき）</p> <p>【関心①】</p> <p>地域の人々の様子や様々な場所について、見たり調べたりしようとしている。</p> <p>（発言 行動）</p> <p>【思考①】</p> <p>親しくなった地域の人や自然、愛着をもった場所との関わりの中で見つけた町の良さをふり返り、多様な方法で表現し、友だちに伝えることができる。</p>

第2次 お店の他に野比の町の安全を守ってくれている人々を知ろう。

目標： 子どもたちが安全に生活できるよう支えてくれている人々に関心をもとう。

・「こども110番の家」以外でも安全を支えている人の存在に気づかせる。

「こども110番」の家以外で町の安全を支えてくれている人はいないでしょうか。

C：消防署はみんなの安全を守ってくれているよ。探検していっぱい教えてもらった。

C：交番でお巡りさんが立っていてくれる。

C：交通指導員のおじさんやおばさんがいるよ。

・交通指導員の〇〇さんに、お話を聞いてみましょう。

3

・消防署や交番、交通指導員さんの画像を提示する。

・消防署や交番、交通指導員さんについて知っていることを聞いて取り上げる。

・地域の身近な人が支えてくれていることに気付かせたい。

・どのような気持ちで交通指導員さんをやってくださっているか、お話ししていただく。

【気付き①】

地域で生活したり、働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることに気付いている。

【関心③】

地域の人々や様々な場所に親しみや愛着をもち、繰り返し関わろうとしている。

・これからの安全な生活について考えよう。

安全に生活できるよう多くの人に支えられていて、自分はどのように過ごさなければいけないのか考えよう。

皆が安全を支えてくれているのだから自分も安全に気をつけて生活していこう。

2

・町探検を通して、子どもたちが安全に生活できるよう人々が支えてくれていることを知り、自分はどのように過ごさなければいけないのか、一人ひとりの意見を聞きたい。

・安全の学習をしたことで、より野比の町に親しみが持てるよう支援したい。

【思考①】

親しくなった地域の人や自然、愛着をもった場所との関わりの中で見つけた町の良さをふり返り、多様な方法で表現し、友だちに伝えることができる。

(発言 振り返りカード)

【気付き②】

親しみや愛着のある場所が増えたり、人々と適切に接したりすることができるようになった自分に気付いている。

(発言 振り返りカード)

1 1. 本時計画 (1/8 時間)

(1) 本時目標 地域で生活したり、働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの安全な生活を支えていることに気付くことができる。

(2) 本時の流れ

学習活動C：予想される児童の反応	留意点	評価 (方法)
<p><b>1. 教師の投げかけ・問題の立ち上げ</b>            T：探検したお店屋さんで見かけたマーク、これは何でしょう。            C：あっ、知ってる。見たことある。            C：探検の時お店屋さん貼ってあった。            C：「こども110番の家」のマーク。            C：悪い人がいたら逃げ込んでいいんだ。            C：助けてくれるんだよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデルに沿った発問の仕方、指示の出し方に留意する。 →<u>発問・指示</u></li> <li>「こども110番の家」のマークを提示する。 →<u>実物提示</u></li> <li>夏の探検で映したビデオを流し、「こども110番」のマークが商店街に貼ってあったことを思い出させる。 →<u>視聴覚教材の活用</u></li> <li>夏の探検で見えてきたことを取り上げ、マークへの興味関心が高まるようにしたい。</li> <li>集中する時間の短い子や体が動いて子のために、前に集合させたり座席に戻したりする。<u>集中力維持</u></li> </ul>	
<p><b>2. 学習のめあてを知る。</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お店の人は、どうして このマークを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お店の人がどうして貼っているのか、考えを持つ。</li> <li>C：子どもたちの安全を守るために貼っていると思う。</li> <li>C：ただ、商店街の決まりで貼っていると思う。</li> </ul> <p><b>3. 話し合い</b></p> <p>○探検の時にもお店の人はすごく優しくだったので、子どもを助けて怖いことから守るために貼っている。</p> <p>●本当に子どもが逃げ込んで来たらめんどろ。決まりだから、ただ貼っている。</p> <p>△わからない。</p>	<p>はっているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→<u>意思表示 選択肢の用意</u></li> <li>→<u>名前カードの活用</u></li> <li>子どもの言葉をつなげ、発言しやすいように工夫する。 ↳<u>肯定的な関わり</u></li> <li>個人⇒ ペア学習⇒ 全体へと話し合いの場を広げていく。 ↳<u>ペア学習</u> ↳<u>グループ学習</u> ↳<u>板書の工夫</u></li> <li>●の考えが出なければ、教師が投げかけ、子どもたちの考えを多めに揺さぶる。</li> </ul>	<p><b>【気付き①】</b>            地域で生活したり、働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの安全な生活を支えていることに気付いている。            (発言 つぶやき)</p>

<p>4. たしかめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えたことをプリントに書く。</li> </ul> <p>5. 解決への見通しをもつ。</p> <p>○どうしたら確かめることができるでしょうか。</p> <p>C：お店の人にどうして貼っているのか聞きに行きたい。</p> <p>○次時の予告。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>次の時間、探検に行ってインタビューしましょう。</p> </div> <p>C：パン屋さんに行って、どうして貼っているのか、聞くの楽しみだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの時間を多くもち、時間があればプリントに記入する。</li> <li>実際にお店の人に聞きたいという気持ちを持たせ、次時につなげる。</li> </ul>	
--	--	--

(3) 板書計画

野比の町たんけん

こども110番の家

スクリーン

ホワイトボード

お店の名前

こども110番の家マーク

?お店の人は、どうして このマークをはっているのでしょうか。

- ☆子どもたちを守ってあげたいから貼っている。
  - ・子どもたちの意見
  - ・
- ★商店街のきまりだから貼っている。
  - ・子どもたちの意見
  - ・

子どもたちの安全を守ってくれている。

探検してインタビューして来よう

(4) 座席表


	①

	②

- ① 自己肯定感が未熟で、進んで発言しようとならない子。
- ② 集中する時間が短い子。



# 野比の町たんけん 月 日

--	--



? 1. お店の人は、どうして このマークを はっているのでしょうか。

☆

---

---

---

2. たしかめ

☆

---

---

